コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

No.30　2016年 2月号

倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
〒712-8024 倉敷市水島北春日町4番3号
TEL 086-444-3212
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-446-6541

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

コープリハビリテーション病院で学んだ 喘息との向き合い方②

神亀支部　支部運営委員　大野範子

ベンチで息を整えている様子（大野さん）

体調に合わせた過ごし方

リハビリ中の二月、三月は寒く、四月に入ると初夏を思わせる暑さ、六月、七月は雨がよく降り、体調の悪い日が多く、八月は猛暑、九月は季節の変わり目、朝夕と昼間の温度差があり、喘息患者にはきつい日が続きました。喘息のリハビリと言っても骨折してギプスが外れて歩けるようになって終了というものではなく、その日その日の体の調子に合わせてのプログラムが大切な事を知りました。基本は「体力をつける」「運動の大切さ」「休息の大切さ」「無理をしない」を教わりました。

褒められる喜びを感じた7ヶ月

家庭では午前中はゆっくり、月・水・土・日曜日は忙しく動き、近所の公園にある散歩コースで短時間でも歩くようにしました。その効果があり、二月と比べると「改善されてきた。」「良く頑張ったね。」と言われ、褒めてもらうのはいくつになっても嬉しく感じました。十月からリハビリは一旦終了しましたが、自己管理をしながら活動を続けていきます。私のように慢性疾患を持っている者に対して定期的にチェックしてもらえる病院があるととてもありがたいです。

「就職先の選択肢が広がった」リハビリ看護体験

指導にあたった浦上あすか看護師

昨年12月22日、ソワニエ看護専門学校の学生を対象に「1日回復期リハビリテーション病棟体験会」を開催しました。当日には1年生8名が参加して、回復期リハビリテーション病棟の特色を学ばれました。介助方法の模擬実習に始まり回診やカンファレンス等に参加してもらいました。最後に病棟スタッフとの交流の時間を設けました。そこで「在宅復帰に向けての病棟での取り組みがわかった。」「期待以上の学びになり、就職病院を選ぶ際の選択枝が広がった。」などの感想や質問も活発に飛び交いました。回復期リハビリテーション病棟という専門性のある分野に、興味や関心を持って頂けたのではないかと思います。

コープリハビリテーション病院
2病棟　看護師
浦上あすか

合同カンファレンスでミニレクチャー

建設の状況 杭工事が始まりました

受け持ち患者さんの生活機能について討論

サンフランシスコの西海岸にて

『昨年12月24日にFMくらしき特別番組（パーソナリティ小野須磨子さん）で「コープリハビリテーション病院・老健あかねだより」12月号の谷守さんの闘病記が紹介されました。番組の後半では谷守さんが電話にて出演し、インタビューを受けました。吉幾三さんの曲「冬鴎」も番組内で熱唱しました。』

入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。